

昭和57年度

市民税の申告相談

57年度市民税の申告相談が、2月3日から始まっています。市民税の申告には必要な書類等を持参のうえ、正しい申告をしてください。

申告時間

午前—9時30分から正午まで
午後—1時から4時まで

Table with columns: 期日 (Date), 受付相談区域 (行政区域町内別) (Reception area), 場所 (Location). It lists dates from 3/1 to 15/1 and corresponding locations like 長木公民館, 中央公民館, etc.

※中央公民館での申告相談は、大変混雑しますので、必ず指定された日に申告して下さるようお願いいたします。

各競技の男女優勝者

- 小学校回転競技
4年の部 梅沢智史(釈迦内)、田中由香(桂城)
5年の部 荒木岳史(花岡)、斎藤晶子(城西)
全学年の部 木村 実(釈迦内)、布袋恵恵(桂城)
中学校大回転競技
1年の部 阿部 淳(花岡中)、石垣満智子(一中)
2年の部 石垣 敦(一中)、菅原裕子(成章中)
全学年の部 藤内正樹(二中)
一般大回転競技
34歳以下の部 伊藤貴彦(秋田工専)
35歳以上の部 荒木秀登(同和花岡)
小学校距離競技
4年の部 佐藤貴彦(川口)、小松利佳(川口)
5年の部 谷地田清史(城西)、木村嘉代子(釈迦内)
全学年の部 高橋正彦(城西)、田村律子(有浦)
中学校距離競技
1年の部 谷地田清吾(一中)、石垣千枝子(一中)
2年の部 太田 亘(一中)、虹川智美(一中)
全学年の部 秦 史明(一中)
一般距離競技
39歳以下の部 工藤 昌(秋田工専)
40歳以上の部 田中長義(同和花岡)
リレー競技
小学校の部 釈迦内小チーム、有浦小チーム
中学校の部 一中チーム、一中チーム
一般の部 同和花岡チーム



起伏にとんだコースを力走

記録に挑戦

市民スキー大会

2月7日、大館スキー場と市民の森を会場に、第二十六回市民スキー大会兼小・中学生スキー大会が行われました。時折日差しもめげず、六百人を超える選手たちが記録に挑戦していました。



旗門をスイスイくりぬけて、大声で自校の選手を応援



みことな滑走

資源ごみ回収運動 38団体で実施

市では、ごみ処理費用の軽減と資源ごみの再利用を目的に、昨年九月から資源ごみ回収運動を実施しています。

五十六年分の実績は、子供会老人クラブなど三十八団体で実施し、回収されたごみ総量は七万一千四百グラム、奨励金総額は十四万二千八百円となっています。

この中で、最も回収数量の多かったのは有浦子供会、次いで御成町二丁目老人クラブ松竹会、大館北ライオンズネクスラブの順となっています。

五十七年もこの制度を実施しています。あなたの町内会でも回収運動に参加しませんか。くわしくは清掃課へお尋ねください。(電話4212169)

各種相談のお知らせ

- ところ—市役所会議室
・じかん—午前9時～午後4時
<交通事故>2月23日、3月9日
<法律>3月18日
<社会保険>2月22日、3月20日
<国 税>2月25日、3月25日

最低賃金が改正

秋田県内の産業別最低賃金が、次のように改正されました。すべての事業主はこの最低賃金額以上の賃金を支払わなければ、労働者を使用することができません。もし違反した場合は最低賃金法により罰せられますので、必ず守ってください。

Table with columns: 業 種 別 (Industry), 1日(円) (1 day), 1時間(円) (1 hour). Lists various industries like food, clothing, wood, etc. with their respective minimum wages.

◆最低賃金には、次の賃金は算入されません。

- (1) 精進手当・通勤手当・家族手当
(2) 臨時に支払われる賃金、1か月を超える期間ごとに支払われる賃金
(3) 所定労働時間を超える時間の労働に支払われる賃金
(4) 所定労働日以外の日の労働に支払われる賃金
◆雇入れ後6か月未満の技能習得中の方は、上記の金額とは異なります。
詳しくは、大館労働基準監督署にお尋ねください。
電話42-4033

われらが町内わがグループ

No. 36

非行少年たちの手助けを

～大館地区BBS会～



会員同志の研修旅行

非行少年たちと友だちになり、立ち直りわずかでも手助けをしたい——とボランティア活動を続けているグループがあります。大館地区BBS会——大兄姉運動の頭文字を取ったこのグループは、昭和三十八年に発足、現在十一人の会員が忙しき時間をさき活動をしていきます。この運動の発祥地はアメリカで、少年裁判所の書記官クルターが日頃接している非行少年たちの兄や姉となり、更生を助けようとしたのがきっかけでした。

日本でも昭和二十二年、京都の学生たちを中心に戦後の混乱期、少年たちの非行に走る姿を見て立ち上ったのが始まりでした。例えは毎月第一、三水曜日で行事日程の打合せや勉強会を開いていきます。最近の非行少年たちの一般的な傾向として「自分を主張するのが下手で、生きがいや充実感を遊興の中にしか見いだせない少年が多い。私たちはそうしかけを与えてやりたいと思います」と会長を務める芳賀利彦さんは話しています。そこで活動の中心として「ともだち活動」を展開しています。個別に訪問し話を聞いてやることや、キャンプやソフトボールなど、レクリエーションを通じて共に汗を流すこととお互いを理解しあいます。こうした努力が実り、少年たちが再び悪い世界に踏み込むことなく、元気に社会に溶け込んでくれた時が会員にとって一番嬉しいときです。また非行防止活動として、映画会、施設の慰問、座談会など地道な活動が続けられていますが、職場や社会の少年たちへの受け入れ態勢は決してスムーズとはいかず、悩みは尽きません。同会では今年二月一日、午後一時から餅田会館で「非行を防ぐ」をテーマに座談会を開きますが、この機会に一般の人たちの多数の参加を呼びかけています。なお、入会の希望や問い合わせなどは次にご連絡ください。
芳賀利彦 電話42-3588